

新鬼兔卜さしませ。

大變にお客くなりまゝに去の泊は意外なる新並所迄  
に打退ごすしとお祝の致し方もありまゝにかうか不祥  
なる私るといふ許トさしませ此の實念にもおつといふく内皆  
多程は新北運に過日遊はさるまゝか子お例致しませ。  
降る私内富一同北運にまゝに居ませ。私るも長い留病  
氣におかすれ一居ませ。ながお陰存にて金帳出来まゝにを  
ら何卒心付心りませ。佐も二人重女丈夫で毎日いそぶ  
ら許して遊んで居ませ。茂儀も四月から暫く休むす。  
次に一寸お相談致しませ。私内に長い留作一居ませ。  
新田が今賣に出し居ませ。それ皆人子か許さる。田地  
だから買へて遊めいとさるのをす。私内に田最が一十二  
い田なら買つて見いむよ。と思ませ。かあまり田が大さこ  
の十倍金を一買ふと目ざしと思ませ。それ本で案内  
に置つて作らせし費へばよ。と思ませ。それ本でその程  
子を世話人に託して居ませ。勉二人の名儀を買つて

不如何か下せうか、私内にも人にとられるのがつらいです  
 一五畝あります。今年うは十俵ほどあります。七  
 七百田畑です。全部八百四十坪です。とんまに  
 かりて買つて作らせると三毛お願います。今年も作  
 ても例年の如くおらうまうれば今年はお米も高向のい大合  
 お金もあるかと。お父の文作へ行き米ををたります。そが  
 全部一十俵ほどおとす。と今年の丁用におそりそい  
 程おるです。それに水利用費が支に三十円位いる話だ  
 す。おらへ五のち川がかりでけです。迎がかりのおも一  
 合もおらへまいのかと。買へばお金を送つてもらはなければ  
 お米の寸ぬお金もかかるといふす。どうか此の手紙が  
 付次第にそにとかお返さうしを知らせてとま、おを願  
 います。至急お願います。  
 實にありませうのうお身も大ににお祈申す  
 台々村によろし

叔父様へ

お願

海聖  
絹太  
様

岡山縣人

Mr. K. Uno

R. 5. Box 5.

Seattle Wash.

U. S. A.

③

岡山縣御津郡  
字甘西村大字  
河田彌夫  
尾久倉

岡山縣御津郡字甘西村尾倉

河田彌夫